



真野川

稲井中3つの「あ」

あいさつ
あきらめない
あいてのために

【第44号】

発行日
平成28年3月24日

稲井中電話番号
0225-91-2314
FAX 91-2315

平成27年度が終わります



ご支援・ご協力ありがとうございました

3月12日に卒業生が巣立ち、本日、稲井中学校は平成27年度の修了式を迎えました。

それぞれの学年が経験を積み、子どもたちも大きく成長した1年だったのではないのでしょうか。

今年度も保護者のみなさまからはPTA活動をはじめ、学校の教育活動にも大きなご支援、ご協力をいただきました。おかげさまで大きな事故もなく修了式を迎えられることに深く感謝申し上げます。

平成28年度は学校創立70周年の節目の年となります。子どもたちが描き上げる70ページ目が輝く1ページとなるよう、職員も一丸となって子どもたちの活動を支援していきたいと思っております。

4月から始まる平成28年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1年生がお世話になった 3年生の教室を装飾

3月10日(木)午後から卒業式の準備が行われました。2年生は体育館の式場装飾、1年生は3年生教室の装飾を分担して行いました。

心のこもった体育館および教室の装飾はアイデアと感謝の気持ちが表れたすばらしい装飾になりました。



ステージの壁面には、3年生が活躍した場面の写真が貼られました。オープニングの短い時間でしたが懐かしさと寂しさが交錯した時間でした。

1・2年生が縁の下の力持ちとなって行われた第69回の卒業式、3年生の晴れの舞台を在校生はしっかりと演出し、3年生の新たな旅立ちへと送り出すことができました。

在校生のみなさん、みなさんのおかげで感動的で立派な卒業式になりました。ありがとうございます！

らいもなく粉に顔をつける姿が今でも鮮明に思い出されます。転んでもすぐ立ち上がり、次の人に少しでも速くたすきを渡そうとする皆さんを、私たちは心から応援しました。そして、強い絆を見させていただきました。

雨を吹き飛ばすような皆さんの素敵な笑顔が輝いた、忘れられない運動会でした。

「Make a new Legend」のスローガンのもと、全校生徒が一つになった文化祭。私たちは、階段から響き渡る皆さんの歌声に、いつも引き込まれていました。

本番のコンクールでは、1組の「虹」、2組の「友～旅立ちのとき～」、学年合唱「大地讃頌」の、力強いピアノ、歌う人の心をひとつにする指揮、きれいな歌声とハーモニーに会場中が包み込まれ、私たちは魅了されました。皆さんの「聴いている人に届けたい」という団結した思いに感動しました。

そして、吹奏楽部のステージ発表。三年生の皆さんは、吹奏楽部の演奏を後押ししようと曲に合わせて歌ったり手拍子したりと、盛り上げてくださいました。

演奏していた私も、時が経つのを忘れてしまうほど楽しく、演奏テーマである「The Pop Stage」を稲井中生全員で、作り上げることができ

ました。勝利に向かい、日々の練習を共に積み重ねた部活動。

初めてで何も分からなかった不安な私たちに、皆さんは一番近くで、いつも「優しく」ときに「厳しく」様々なことを教えてくださいました。

(中略)
皆さんと過ごした行事や普段の生活は、私たちにとってかけがえのない時間でした。それは、皆さんの「目標に向かって仲間と共に、あきらめず前に進む行動力」が稲井中に新しい風を吹かせてくれたからです。

皆さんの、「いつでも・なんでも・一生懸命」に取り組み、活躍してくださったおかげで、楽しい中学校生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

これから、皆さんはこの稲井中学校を卒業し、夢に向かって新しい一歩を踏み出します。その道中、乗り越えなければならない壁にぶつかることがあると思います。

しかし、「冬来たりなば春遠からじ」と言うように、今苦しくて悩んでいたとしても信じて頑張れば、その先には必ず、新しい明るい未来を切り開けると信じています。

私たち在校生一同、卒業生皆様方の輝かしい未来と、ますますのご活躍を心よりお祈りし、送辞といたします。

第69回卒業式



3年生もそれぞれの道を歩み始めました

在校生を代表して日野愛果理さんが送辞

桜のつぼみも膨らみ始め、この稲井の地にも春の訪れを知らせる足音が、聞こえる季節となりました。

この佳き日に、思い出あふれるこの稲井中学校を旅立つ五十八名の卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

在校生一同、心からお祝い申し上げます。



皆さんが稲井中学校の門をくぐってから、早三年。皆さんの心のアルバムの中には、ページをめくると、あふれんばかりの様々な思い出がよみがえってくると思います。私たちが今、皆さんと過ごしてきた日々を思い返すと、言葉では語り尽くせないほどの思い出と感謝の気持ちでいっぱいです。

雨の中、裸足で校庭を駆け抜けた運動会。応援合戦では、練習の時から皆さんの雰囲気は私たちと違い、「絶対に勝ちたい」という気迫に満ち溢れていました。

応援合戦の振り付けや歌、言葉がなかなか覚えられない私たちに最後まで丁寧に教えてください、また優しく励ましてくださいました。

練習を重ねて行く中で「成功するようにもっと頑張る練習しよう、本番では勝って先輩方に恩返しをしよう」という気持ちになりました。迎えた本番では、紅組・白組どちらも一歩も譲らない白熱した戦いをすることができました。また、三学年種目の障害物リレーは、見る人たちを楽しませる素晴らしいものでした。走り出したままの勢いでネットをくぐりハードルを越え、目が回るような速さでぐるぐると回り、ため